



多田の里 だより



多田小学校通信

令和6年5月1日号 ミマモルメ配信

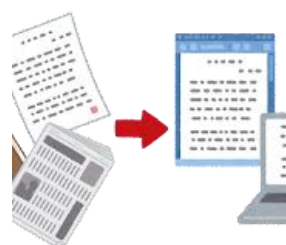
教職員の今

令和6年度多田小学校の教員数は、校長、教頭、養護教諭を除くと28人になります。ところで学級数は、1年生は2クラス、2年生以上は3クラスあります。たんぽぽ学級が4クラス、合計21クラスになります。各学年の学級数の平均は $17/6=2.83$ クラス。学年教員の人数は $(28-4)/6=4$ 人となりそうですが、短時間勤務の教員が5人含まれます。ということは、各学年学級数の教員+1人いるかないかという教員組織になっているのです。

これまでの学校は、教員が休むことなく元気に一年間働くことを当たり前としてきました。しかし現実には、病気になったり、けがをしたり、何らかの事情があって休むことも他の職業と同じく必ず出てきます。現実を見据えたとき、誰かが休むことがあることも視野に入れながら進むのが、最も適した方法だと考えています。前述の通り、小学校の教員数は、中学校や高等学校と比較するとあまりにも少なすぎるのが現状というところです。そんな中でも子どもたちの学びを止めない努力と工夫を学校は重ねていきます。ご理解とご協力をお願いします。

教育DX（デジタルトランスフォーメーション）

わかりやすいのが、子どもたち一人一人にタブレット端末が貸与されたことです。教員もタブレットPCを用いて、電子黒板も併用し、日々の授業に取り組んでいます。連絡帳も姿を消しつつあるツールになってきました。ミマモルメの活用も日常です。しかし、まだまだ実践の蓄積が少ないため、これからも工夫と研究を進めつつ進化していく必要があります。例えば、保護者の皆さんにとっても家庭環境調査票が突然紙から電子化されたことに驚かれたことでしょう。そんな流れの中に子どもも教職員も保護者もいることになります。紙の文化からデータをいろいろなところで活用することが当たり前となった社会になってきました。6年生の学力学習状況調査も一部タブレットを用いる時代になりました。今後も様々なところで今までの常識を覆すことが常識になっていくと予想されます。お店で食事をする時にも大きな変化を感じる昨今です。みなさんはどうでしょうか。社会とひとつながりの学校です。いろいろな事にチャレンジしていると思っているのはおとなたちで、子どもたちは驚くこともなく、普通に変化の波にしっかりと乗っているように見えます。「今の若者は」と言われたのは昔のことで、最先端に行くのが子どもたちかもしれません。とにかくいろいろな事にチャレンジして、より良いものを模索し続けていきたいと思います。



今後の予定について

4月30日現在 各学年の予定は学年だよりをご覧ください

新たな児童引き渡し訓練

今年は例年と異なる状況が生まれています。昨年まではカード（紙）での確認でした。今年は、緊急時引き渡しの登録が、電子化になりました。紙を用いない形でやってみます。引き取りに来られる方の情報は、すでに登録されています。あとはその場で登録者であることが確認できれば児童とともに下校となります。しかし、登録者と異なる場合には、引き取りを OK とすることができません。過去の災害時に保護者の確認なしに引き渡し、災害に巻き込まれたケースがありました。厳密な運用になりますが、了承いただきたいと思います。

訓練の目的は滞りなく進めることではなく、訓練を通して不具合を発見することにあります。本当の災害時に、困ることがないように訓練で困ることを発見したいのです。今回は新しい形で進めてみますので、うまくいかないかもしれません。その時はご容赦ください。来てほしくない本番への備えとしていきます。よろしくお願いします。

